H.264 監視用デジタルビデオレコーダー

TH-R6004

取扱説明書

INDEX

はじめに 3

免責事項 3

付属品の確認 4

各部名称 5
　本体パネル 5
　操作リモコン 7

電源の ON/OFF 操作 8
　操作画面の選択 8

画面表記について 10
　画面表記 10
　画面上アイコン 11

メニュー画面の表示 12
　ログイン 12
　ログアウト 13

メニュー操作 14
　システム 15
　デバイス 23
　カメラ 23
　アラーム 27
　ディスプレー 31
　録画 38
　ネットワーク 44
　センサー 52
　モーション 55
　ビデオロス 58
　テキストイン 60
　HDD アラート 63

サブメニュー操作 65

PTZ カメラの操作 66

バックアップ 68

録画映像の再生 69
　日時を指定して再生 71
　カレンダー検索再生 72
　イベント検索再生 73
　テキスト検索再生 73

製品仕様 74

はじめに

この度は本製品をお買い求め頂き誠にありがとう御座います。
本製品は H.264 圧縮方式を採用し、これまでのデジタルレコーダーと比較して高画質・高圧縮を実現しました。
ご使用前には本取扱説明書をお読みになり正しい使い方で末永くご使用頂きます様お願い申し上げます。

免責事項

製造者・輸入者・または代理店は傷害を含む偶発的な損傷または本製品の不適切な使用及び操作による損傷に対し一切の責任を負いません。また、本製品の故障・使用によって生じた保存データの消失などの直接または間接的な傷害についても一切責任を負いません

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

異常の状態で使用しないでください
万が一強く発熱していたり、異臭がする、煙が出ているなどの異常状態のままご使用になると、火災・感電等の事故の原因となります。直ちに電源供給を止めてください。

分解・改造しないでください
修理者以外の人は、絶対に本機を分解・改造しないでください。
火災、感電等の事故の原因となります。

水などがかからないようにしてください
本機を水につけたり、水をかけたり、雨がかからないように注意してください。
故障、ショート、感電、火災等の事故の原因となります。
また、濡れた手で本機や電源に触れないでください。感電の原因となります。

ほこりの多いところでのご使用は充分にご注意ください
本機の電源端子等、各端子部にほこりがかからないように注意してください。
故障、ショート、感電、火災等の事故の原因となります。

温度は、仕様の範囲内でご使用ください
ご使用になる際は、本機の使用温度範囲内かどうかを充分にご確認ください。
使用温度範囲を超えた場合、故障、火災等の事故の原因となります。

電源電圧をお守りください
ご使用になる際は、本機の電源電圧仕様をご確認いただき、それ以外の電圧で使用しないでください。故障、火災等の事故の原因となります。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人あるいは物的損害を負う可能性が想定されます。

設置について
本機の質量と設置場所の強度を充分にご確認の上、設置ください。万が一落下すると、非常に危険です。

電源について
電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

付属品の確認

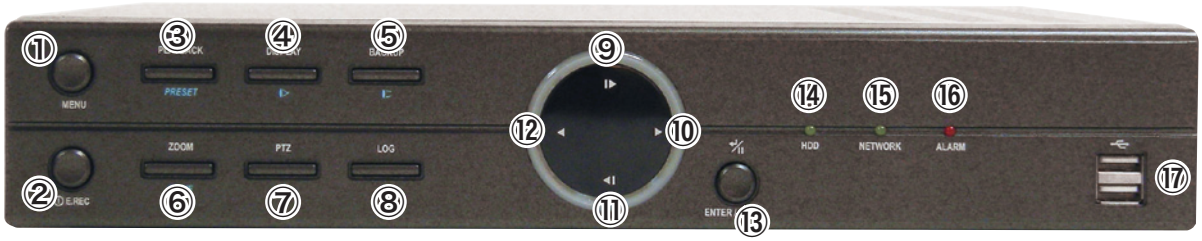
☑ パッケージ内容をご確認ください。

- □レコーダー本体 x1
- □電源アダプター x1
- □リモコン (テスト用電池付) x1
- □ USB マウス x1
- □ネットワークマニュアル x1
- □ iMon2 ご利用ガイド x1
- □取扱説明書 (本書) x1
- □保証書 x1

各部名称

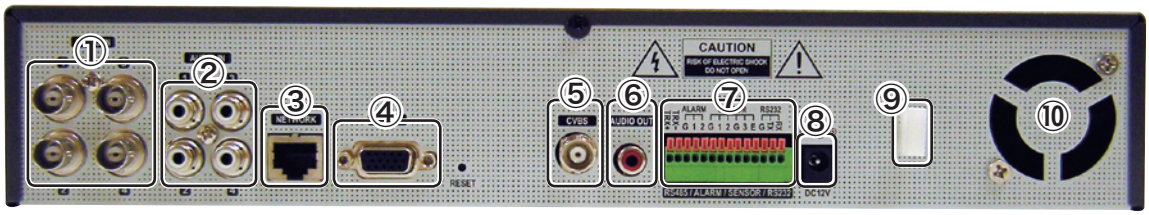
本体パネル

前面

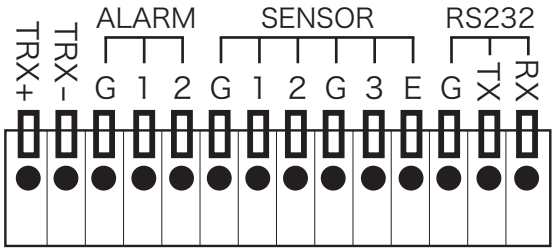


基本操作ボタン	通常時の動作	PTZ モード時の動作
① MENU	メニュー画面表示 / 前画面に戻る	ー
② E.REC	緊急録画ボタン	ー
③ PLAYBACK	再生画面表示	プリセット保存
④ DISPLAY	画面表示切替 (単画面 / 分割 / シーケンス)	フォーカスイン
⑤ BACKUP	バックアップメニュー表示	フォーカスアウト
⑥ ZOOM	ズーム表示	カメラ旋回 ON/OFF
⑦ PTZ	PTZ モード ON/OFF	ズームアウト
⑧ LOG	LOG 表示	ズームイン
再生操作ボタン	**メニュー時の動作**	**再生時の動作**
⑨ ▮▶	カーソル上移動	コマ送り
⑩ ▶	カーソル右移動	早送り (x2/4/8/16/32)
⑪ ◀▮	カーソル下移動	コマ戻し
⑫ ◀	カーソル左移動	巻き戻し (x2/4/8/16/32)
⑬ ENTER/PAUSE	項目の決定	一時停止
各種インジケータ		
⑭ HDD	HDD アクセスインジケータ	
⑮ NETWORK	ネットワークアクセスインジケータ	
⑯ ALARM	アラームインジケータ	
接続ポート		
⑰ USB ポート	マウス、USB メモリ等を接続	

背面



各部名称	詳細
① VIDEO IN	映像入力端子 (BNC-J x4 系統)
② AUDIO IN	音声入力端子 (RCA-J x4 系統)
③ NETWORK	LAN 端子 (RJ-45)
④ VGA	VGA 映像出力端子 (ミニ D-Sub15)
⑤ CVBS	ビデオ映像出力端子 (BNC-J)
⑥ AUDIO OUT	音声出力端子 (RCA-J)
⑦ RS485/ALARM/SENSOR/RS232	ブロック端子 (配列以下参照)



⑧ DC 12V	電源入力端子 (DC-J)
⑨ ケーブル固定クリップ	電源ケーブルを固定 (脱落防止用)
⑩冷却ファン	本機を冷却します

操作リモコン

操作方法

①緊急録画

②リモコン ID

③ナンバー

④シーケンス

⑤分割表示切替

⑥▲▼◀▶カーソル

⑦メニュー項目の決定

⑧メニュー表示 / 前画面にもどる

⑨ OSD 表示 ON/OFF

⑩ PTZ モード ON/OFF

⑪バックアップメニュー表示

⑫各種再生操作
※詳細は本体パネルを参照 (P.5)

⑬各種機能呼出し
※詳細は本体パネル参照 (P.5)

電源の ON/OFF 操作

電源 ON

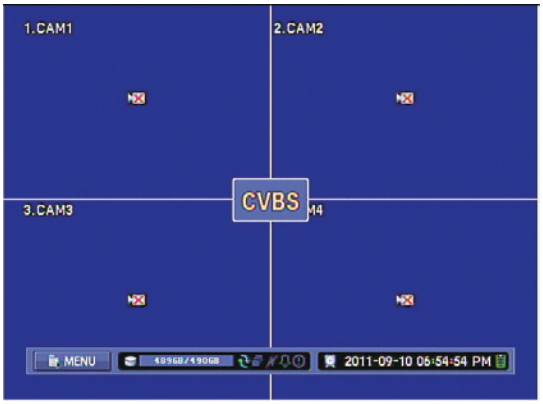
付属のＡＣアダプターを本体背面につなぎ、AC100V コンセントへ差し込みます。

※本機は、電源投入後カメラが接続されると自動で録画を開始します

操作画面の選択

本機は、VGA 画面と CVBS 画面 (ビデオ 映像出力画面) を同時に表示させることができますが、メニュー操作等を行うことができる画面は、どちらか一方になります。工場出荷時は、VGA 画面が操作画面となっています。
マウスカーソルが表示されなかったり、本体の MENU ボタンを押してもメニューが表示されない場合は、操作画面を切り替える必要があります。この状態から操作画面を切り替えるには、次の 3 つの方法があります。

① 本体の DISPLAY ボタンを長押し（3 秒間）する
② リモコンの分割表示ボタンを長押し（3 秒間）する
③ マウスの両方のボタンを同時に押す



上記いずれかの操作で操作画面が切り替わると画面中央部に「CVBS」または「VGA」と表示され操作が可能になります。

※工場出荷時は、VGA 出力側にメニュー画面が表示されるようになっています

電源 OFF(シャットダウン)

本機の電源を落とす場合はメニュー画面より「電源 OFF（シャットダウン)」します。
（機器を安全に終了させるために、電源 OFF する際は、以下の手順を必ず行なってください）

1. 左絵のようにメニュー画面を表示させ「シャットダウン」を選択

2.「終了してもよいですか？」で「はい」を選択

4.「システムは正常に終了しました」と表示され、電源 OFF 完了

5.AC アダプターを抜いてください

※シャットダウンしても、AC アダプターから電源供給されている際、内部ファンは動作します

画面表記について

画面表記

画面上の主な表記についてご説明いたします。

電源投入後、本機の起動が完了すると左のような画面が表示されます。

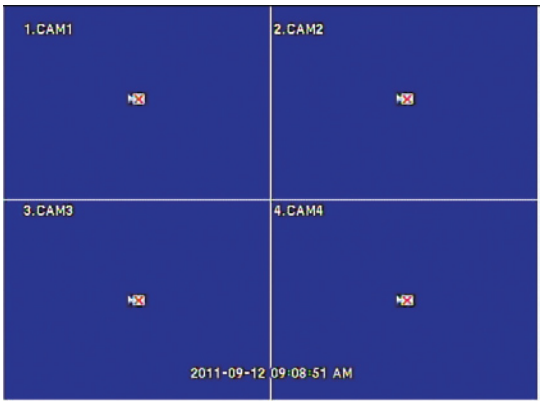
接続されたカメラ映像を表示します

ステータスバー

表記解説

①マウス操作でクリックすると、「メインメニュー」を表示
②ハードディスクの使用量
③上書き録画
④画面シーケンス（スイッチャー）
⑤ネットワークからのアクセス時
⑥アラーム発生
⑦緊急録画時
⑧現在日時表示

ステータスバー無し画面



ステータスバーは一定時間後に非表示する事も出来ます。(5 ～ 60 秒)

詳細は P.31「MENU > ディスプレー > 表示」の項をご覧下さい。

画面上アイコン

画面上に表示される「アイコン」についてご説明いたします。

赤	録画中
青	録画停止中(イベント待機中)
赤	イベント録画中
青	プリイベント録画中
	緊急録画中
	モーション検知中
	センサー入力検知中
	テキストインモード中
	PTZカメラモード中
	ビデオロス(映像信号ロス)

メニュー画面の表示

ログイン

「MENU」ボタンを押すとメニュー画面を表示される前に下図のようなログイン画面が表示されます。

1.「Administrator（管理者）」/「User（使用者）」を選択

2. パスワードを入力　（８桁までの数字）
※出荷時は「空欄」のまま「ＯＫ」

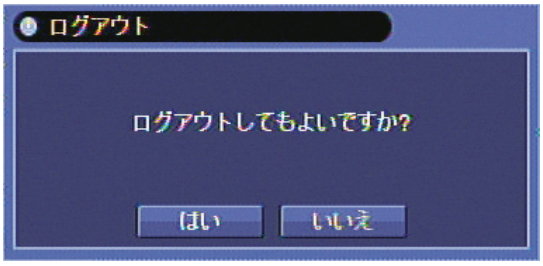
3.「ＯＫ」をクリック

パスワードの設定　→　P.18「ユーザー」

4. メニュー画面が表示されます

ログアウト

ログアウトすると、本機を操作しようとした際に、再度ログインが必要となります。
録画を停止したり、電源を OFF したりするものではありません。



1. ログアウトする場合は「はい」を選択します。

メニュー操作

メニュー画面から本機の各種設定が行えます。

システム → **P.15 へ**
設定値の初期化、設定値の保存、バージョンアップ、パスワードの変更　など

デバイス → **P.23 へ**
カメラの表示、音声録音の設定、ＰＴＺカメラの通信設定　など

ディスプレー → **P.31 へ**
ステータスバーの非表示、メイン・スポットモニターの設定、シーケンス時間の設定　など

録画 → **P.38 へ**
録画の設定、録画ステータス確認、イベント録画の時間設定、ハードディスクフォーマット　など

ネットワーク → **P.44 へ**
IP アドレスの登録、ポートの設定、メール通知の設定、ネットワーク帯域の制限　など

各種イベント設定 → **P.52 へ**
センサー入力、モーション検知、映像ロス、ＨＤＤアラート等の発生時の出力設定　など

システム

情報

メニュー > システム > 情報

【DVR 名】　本機の名称を設定します。
↵ を選択すると、キーボードが表示されますので、任意の名称を設定してください。

【MAC アドレス】　本機の MAC アドレスを表記しています。

【バージョン】　本機のファームウエアのバージョンを現しています。

【アップグレード】　アップグレードファームウエアを保存した USB メモリを、本機へ差し込んだ状態で「アップグレード」を選択すると、アップグレードを開始します。

【リモコン ID】　本機のリモコン ID 番号を設定します。

複数の DVR を、1 個のリモコンで操作可能です。
リモコンの ID ボタンを DVR へ向けて押すと ID 番号が表示されますので、リモコン上でその ID 番号を押すと、その DVR のみ操作が可能になります。

【映像信号規格】　映像規格の種類を表示しています。「ＮＴＳＣ」に設定ください。

【システム設定】　ＤＶＲで設定した値を、他の DVR へコピーできます（USB メモリ使用）。

【出力】　「出力」本機の設定値をＵＳＢメモリに保存

【入力】　「入力」ＵＳＢメモリに保存されている設定値を本機へインストール

【初期値】　出荷時の設定に初期化します。（但し、「システム」「ネットワーク」の設定は変わりません）

日付・時間の設定

メニュー > システム > 日付・時間 > 日付・時間

【時間帯】　地域帯を表示しています。（出荷時の日本時間のままご使用ください）

【サマータイム設定】　サマータイム制を導入する場合に使用します。

【日付】　現在日付を設定します。「フォーマット→ 2009/00/00、00/00/2009 の表示変更」

【時間】　現在時間を設定します。「フォーマット→ AM/PM、24:00 の表示変更」

NTP サーバーの設定

メニュー > システム > 日付・時間 > NTP

【ＮＴＰを使用する】　ＮＴＰサーバに同期させ、本機の日時を自動調整する機能です。
（ネットワークの状態によっては同期できない場合がございます）
↵ を押すとサーバーのアドレス入力画面が表示されます。

【間隔】　同期する間隔を設定します。「30 分、１・２・３・６・１２時間、１日」

【アップデート】　押すと同期（更新して時間調整）します。

休日 (祝日) の登録

メニュー > システム > 日付・時間 > 休日

【設定手順】　①で項目を新規追加し、②で日付を設定します。
最後に "OK" で終了します。

ご注意！

祝日などは毎年日付が変わります。本機の「休日」はあくまでも日付ベースでの設定ですので、ご注意ください。

ユーザー

Administrator（管理者）や User（使用者）等、利用者の追加・削除、それに伴う権限の付与などを行ないます。

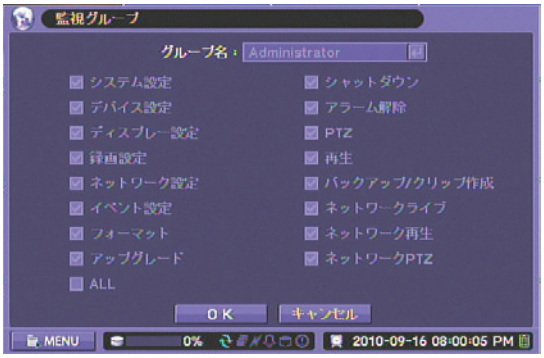
【オートログイン】　DVR 操作時のログイン作業を省略します。
オートログインを有効にするには設定後に本機を再起動してください。

【自動ログアウト】　何も操作したい状態が続くと、一定時間後にログアウトします。
「1 ～ 60 分（1 分単位）」

【ユーザー】
（グループ変更）
（パスワード変更）　ログインする際の ID になります。
ユーザー名を選択すると下記の画面が表示され、グループの変更 / パスワードの変更が行えます。

※パスワード変更の際は、ユーザーページを "OK" で終了しないと反映されません

【グループ】　グループ名を表示します。
「利用権限＝グループ単位」 に付与します。
グループ名を選択すると、下記の画面のように利用権限が表示されます。



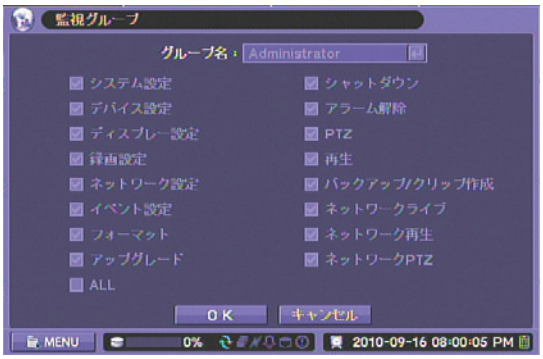
グループ

メニュー > システム > ユーザー > グループ

グループ名を表示します。
本機では、各設定や操作に利用権限を付与できます。

「利用権限＝グループ単位」
グループ名を選択すると、現在の利用権限が表示されます。

【新規追加】　新規追加ボタンを押すと、下記の画面のように「グループ名」とそれに応じた「利用権限」の設定が行なえます。



簡易設定

メニュー > システム > 簡易設定

本機は電源投入後にカメラが接続されている場合には自動で録画を開始します。(出荷時設定)
「簡易設定機能」を利用することで、最小限の設定で本機をご利用いただけます。

設定画面 1

設定したら①を選択して「設定画面 2」へ移動してください。

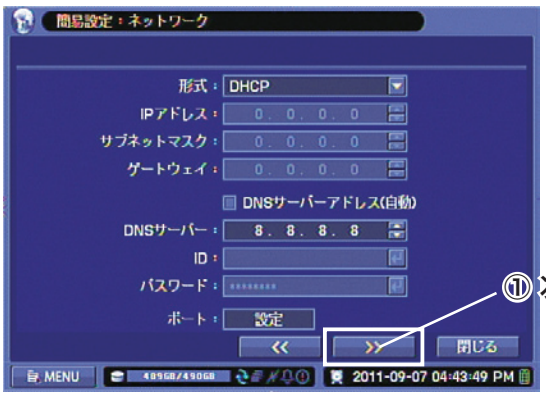
【DVR 名】　本機の名称を設定します。
を選択すると、キーボードが表示されますので、任意の名称を設定ください。

【言語】　出荷時のまま（日本語）

【パスワード】　パスワードを変更できます（出荷時は空欄のまま「ＯＫ」）

【時間帯】　本機の表示地域を選択します　（出荷時のまま　日本地域）

【日付・時間】　現在日時を設定します



設定画面 2

設定したら①を選択して「設定画面 3」へ移動してください。

※ネットワーク機能をご利用にならない場合も必ず次ページへ進んでください。

ネットワークを利用したパソコンによる監視を行なう場合に設定します。
IP アドレス、ポート情報を入力してください。

設定画面 3

設定したら①を選択して「設定画面 4」へ移動してください。

【上書き】　ハードディスクの上書き録画の可否を設定します

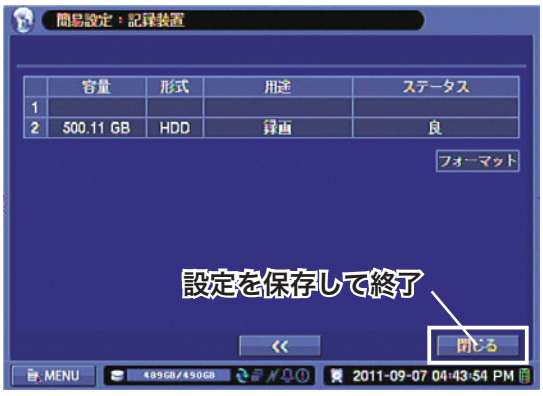
【緊急録画】　緊急録画の可否を設定します。

【解像度】　録画解像度を設定します
「D1」720x480　「Hafl D1」720x240　「CIF」360x240

【画質】　画質を設定します　「最高」「高」「標準」「中」

【ips】　毎秒の録画フレーム数を設定します。「1 ～ 30 フレーム」

【解像度】【画質】【ips】は連続録画 / イベント録画 / 緊急録画のそれぞれに設定が可能です。



設定画面 4

ハードディスクのステータスを表示しています。
ステータスが「良」であることを確認してください。

" 閉じる " を選択すると設定画面 1 ～ 4 で行った設定が反映されます。

ステータス表示が「良」でない場合、「フォーマット」を行なってください。

※設定を行なう場合は、必ず最後の「設定画面 4」まで進んでください。
　途中の設定画面 1 ～ 3 の「閉じる」選択してしまうと、設定が無効となります。

システムログ

メニュー > システム > システムログ

システム上で発生した内容をリスト表示しています。

【出力】　USB メモリへ保存します。（CSV 形式）

【再読込】　履歴を更新します。

デバイス

カメラ

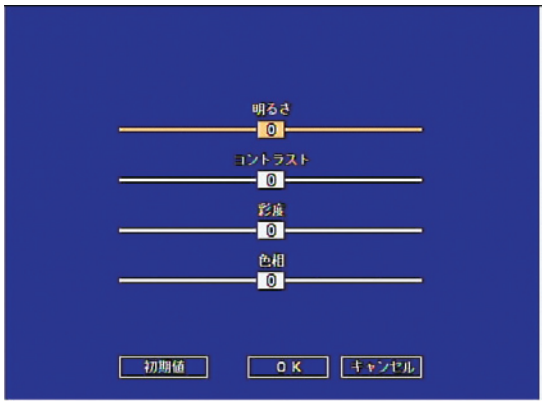
メニュー > デバイス > カメラ > カメラ

本機に接続したカメラの「表示・非表示」「タイトル」「色合い」を設定します。

【☑】　チェック有　：　カメラ有効
チェック無　：　カメラ無効　（録画しない、表示しない）
〔ご注意〕 チェックが無いと録画も行なわれません。

【タイトル】　カメラのタイトルを表示します。
↵ を押すとキーボードが表示されますので、任意の名称をご登録ください。
非表示の際、画面色はグレー

【色】　カメラ表示の色合い等を 4 項目から設定できます。(下記参照)
「明るさ」
「対比（コントラスト）」
「濃さ」
「色合い」



PTZ

メニュー > デバイス > カメラ > PTZ

本機で、パンチルトズーム（PTZ）カメラの簡易的な操作が行なえます。

（但し本機に搭載しているプロトコルに対応している必要があります）

【☑】　チェック有　：　PTZ カメラ有効
チェック無　：　PTZ カメラ無効　（接続されていても動作しない）
〔ご注意〕 チェックが無くても、録画は行なわれます。

【プロトコル】　ご利用される PTZ カメラのプロトコルを選択してください。

【アドレス】
（カメラＩＤ）　PTZ カメラの識別 ID 番号を設定します。
PTZ カメラに設定された ID 番号を選択してください。（０～２５５）

【スピード】　パンチルト旋回スピードを設定します。（１～１０）
※ PTZ カメラに種類によっては設定が反映されない場合があります。
(お使いの PTZ カメラに速度調整機能がある場合はそちらをご利用ください。)

※通信速度に関する設定は、「デバイス RS232&RS485」
※実際の PTZ カメラの操作方法については、「PTZ カメラを操作する」 の項をご参照ください。

マスク設定

メニュー > デバイス > カメラ > マスク設定

本機に接続したカメラの「表示・非表示」を設定します。

【曜日】　マスクさせる曜日を指定できます。

【開始～終了】　マスクの開始時刻 / 終了時刻を設定できます。

【モード】　マスク時のモードを設定します。
OFF ＝マスクしない
守秘モード 1 ＝カメラタイトル、アイコン（録画中など） のみ表示
守秘モード 2 ＝何も表示しない

【カメラ】　マスクをかけるカメラのチャンネルを選択します。

音声

メニュー > デバイス > 音声

各チャンネル毎に音声の入力の有効 / 無効を設定します。

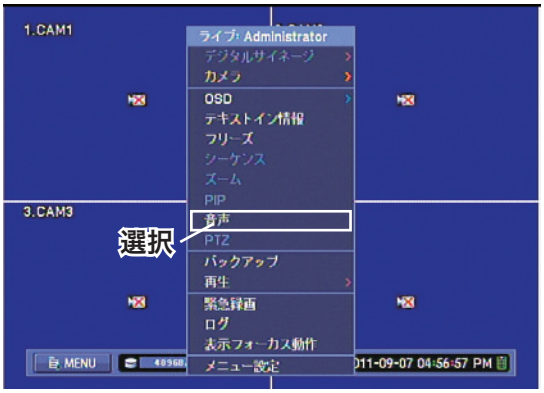
【☑】　チェック有　：　音声入力　有効（ON）　※録音も同時に行います。
　　チェック無　：　音声入力　無効（OFF）

【タイトル】　↵ を選択すると、キーボードが表示されますので、任意の名称を設定ください。

音声を聞く場合

サブメニュー > 音声 > 任意のチャンネル

映像表示画面にて、右のような画面を表示させ聞きたい音声のチャンネルを選択します。



【サブメニュー表示方法】　マウス　＝　右クリック
　　リモコン　＝　AUDIO ボタン
　　本機フロントパネル　＝　↵

アラーム

メニュー > デバイス > アラーム > アラーム

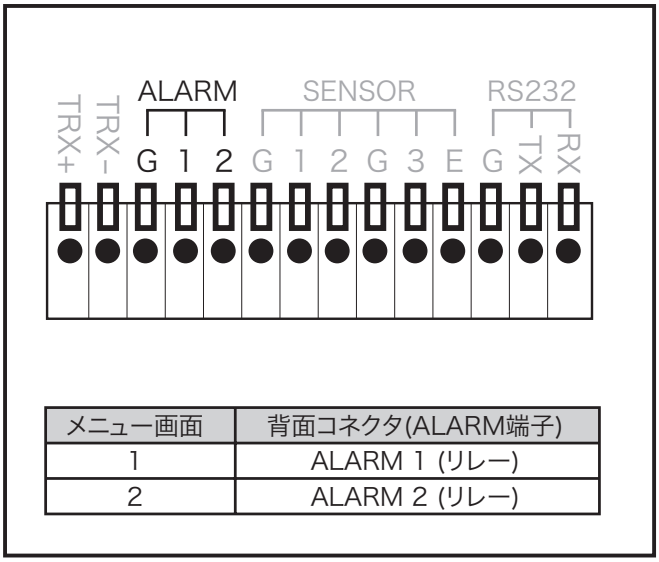
イベントが発生（センサー入力や動体検知、ビデオロス等）した際、アラーム出力（本機背面から外部機器へ信号発信）が行なえます。

【アラーム接続時間】　アラーム（本機背面出力からの信号発信）を出力させる時間の長さを設定します。
（5・10・15・20・25・30・40・50 秒、1・2・3・4・5・10 分）

【タイトル】　↵ を選択すると、キーボードが表示されますので、任意の名称を設定ください。

【形式】　接点開閉の状態を選択します。
「NO」 ノーマルオープン　「NC」 ノーマルクローズ

【アラーム出力端子(本機背面パネル)】



メニュー画面	背面コネクタ(ALARM端子)
1	ALARM 1 (リレー)
2	ALARM 2 (リレー)

アラームスケジュール

メニュー > デバイス > アラーム > スケジュール

アラーム出力を ON/OFF させる時間帯などの条件を、各チャンネル毎に細かくスケジュール設定できます。

【曜日】　アラーム出力を有効にする曜日を選択します。
（毎日・日・月・火・水・木・金・土・休日・月～金・土日）

【開始～終了】　アラーム出力を有効にする開始・終了時刻を選択します。
（２４時間に設定する場合は、００：００～２４：００に設定してください）

【モード】　アラーム発生のＯＮ／ＯＦＦ、発生させるときの録画モード（常時／イベント時）を選択します。

「イベント」＝イベント発生時のみ出力
「ＯＮ」＝常時アラーム出力
「ＯＦＦ」＝アラーム常時ＯＦＦ

【　アラーム　】　出力させるチャンネルを表示しています。
↵ を押すとチャンネルの選択ができます。
Buzzer を選択すると、アラーム発生時と同時に本機からブザー音がなります。

コントローラー

メニュー > デバイス > コントローラー

本機 (日本仕様) においては本項目は使用いたしません。

RS232&RS485

メニュー > デバイス > RS232&RS485

【bps】　本機とＰＴＺカメラ等、RS232・RS485 にて接続する外部機器との通信速度を設定します。
双方の通信速度が合致するように設定してください。
（300・600・1200・2400・4800・9600・19200・38400・57600・115200bps）

【用途】　使用するデバイスを選択します。

PTZ　＝　PTZ カメラをコントロール
コントローラー　＝　使用しません
テキスト　＝　使用しません

それ以外の項目は、出荷時設定のままでご使用ください。

※この項目は本機を経由して PTZ カメラをコントロールする場合に設定してしてください。
※ネットワークアクセス時にリモート画面（インターネットエクスプローラーまたは NEMON2）より PTZ カメラの操作を行いたい場合も本項目を設定してください。

ディスプレー

表示

メニュー > ディスプレー > 表示

言語設定やステータスバー表示の設定が行えます。

【言語】　そのままでご利用ください。（日本語）

【ステータスバー消去】　ステータスバーの表示を、操作が終了してから一定時間後に非表示させます。

「OFF　＝　非表示にしない」
「ON　＝　5・10・15・20・25・30・40・50 秒、1 分

OSD (VGA)

メニュー > ディスプレー > VGA > OSD

VGA 出力時の OSD 表示の余白設定が行えます。

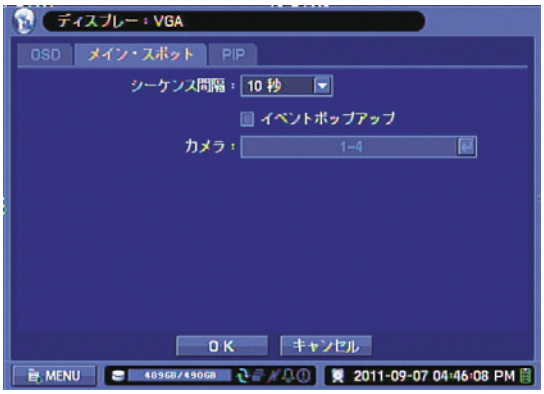
【OSD 垂直方向余白】　OSD 表示時の垂直方向の余白を設定します。

【OSD 水平方向余白】　OSD 表示時の水平方向の余白を設定します。

メイン・スポット (VGA)

メニュー > ディスプレー > VGA > メイン・スポット

VGA 出力時のシーケンス間隔とイベントポップアップの設定が行えます。



【シーケンス間隔】　シーケンス機能（画面自動切替）を使用する際の、切替時間を設定します。（1・2・3・4・5・10・15・20・25・30・40・50 秒、1 分）

【イベントポップアップ】　イベント発生時（センサー入力や動体検知、ビデオロスなど）に、画面をポップアップさせます。

【カメラ】　イベントポップアップさせるカメラチャンネルを選択できます。

PIP (VGA)

メニュー > ディスプレー > VGA > PIP

VGA 出力時の PIP(ピクチャーインピクチャー) 設定が行えます。

【サイズ】　PIP 画面のサイズを選択できます。

【ポジション】　PIP 画面をどこに表示させるかを選択してください。

OSD (CVBS)

メニュー > ディスプレー > CVBS > OSD

BNC 出力時の OSD 表示の余白設定が行えます。

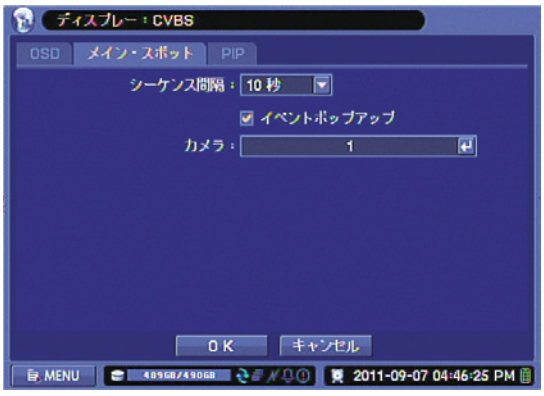
【OSD 垂直方向余白】　OSD 表示時の垂直方向の余白を設定します。

【OSD 水平方向余白】　OSD 表示時の水平方向の余白を設定します。

メイン・スポット (CVBS)

メニュー > ディスプレー >
CVBS > メイン・スポット

BNC 出力時のシーケンス間隔とイベントポップアップの設定が行えます。



【シーケンス間隔】　シーケンス機能（画面自動切替）を使用する際の、切替時間を設定します。（1・2・3・4・5・10・15・20・25・30・40・50 秒、1 分）

【イベントポップアップ】　イベント発生時（センサー入力や動体検知、ビデオロスなど）に、画面をポップアップさせます。

【カメラ】　イベントポップアップさせるカメラチャンネルを選択できます。

PIP (CVBS)

メニュー > ディスプレー > CVBS > PIP

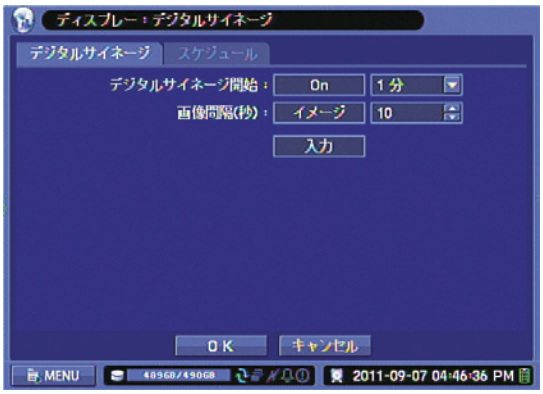
BNC 出力時の PIP(ピクチャーインピクチャー) 設定が行えます。

【サイズ】　PIP 画面のサイズを選択できます。

【ポジション】　PIP 画面をどこに表示させるかを選択してください。

デジタルサイネージ

メニュー > ディスプレー >
デジタルサイネージ > デジタルサイネージ



モニター上にデジタルサイネージ (電子広告)
を表示する事ができます。

【デジタルサイネージ開始】　デジタルサイネージ表示の ON/OFF を設定できます。
ON に設定した場合、表示時間の設定が行えます。

ON　＝　表示する (10/20/30 秒、1 ～ 5 分、10/20/30 分、1 時間)
OFF　＝　表示しない

【画像間隔】　広告の表示間隔を設定できます。

イメージ　＝　静止画の表示間隔 (スライドショー：1 ～ 60 秒)
ビデオ　＝　静止画を 15 コマ / 秒で動画のように表示

【入力】　USB メモリから広告データ (JPG) をインストールします。

デジタルサイネージ表示中も録画は通常通り行われます。

※デジタルサイネージで読み込める画像フォーマットは JPG 形式のみです。
　使用できるファイル名は、XXXXXXXX_0000.jpg から XXXXXXXX_9999.jpg の最大 10000 枚です。(XXXXXXXX はファイル名として使用できる文字で任意)
※次ページのスケジュール設定より広告表示のスケジュール、表示させるモニターを選択してください。

スケジュール (デジタルサイネージ)

メニュー > ディスプレー > デジタルサイネージ > スケジュール

デジタルサイネージ (電子広告) を表示するスケジュールと表示するモニターを設定できます。

【曜日】　デジタルサイネージを表示する曜日を選択します。
（毎日・日・月・火・水・木・金・土・休日・月～金・土日）

【開始～終了】　デジタルサイネージの開始・終了時刻を選択します。
（24 時間に設定する場合は、00：00 ～ 24：00 に設定してください）

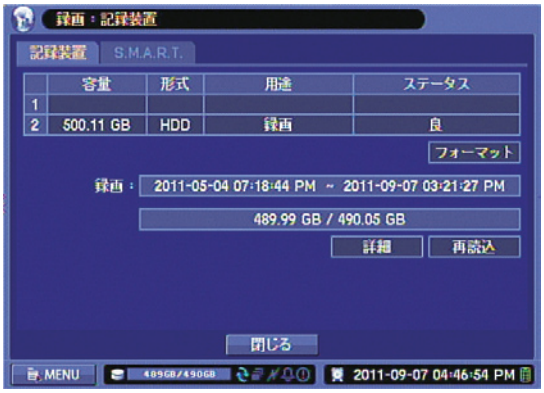
【表示】　どのモニターにデジタルサイネージを表示させるかを選択します。

録画

記録装置

メニュー > 録画 > 記録装置 > 記録装置

記録媒体 (HDD 等) のステータス表示やフォーマット等が行えます。



【容量】　ハードディスクのメモリ容量を表示しています。

【形式】　内蔵されているドライブの種類を表示します。

【用途】　内蔵ドライブの使用用途を表示しています。

【ステータス】　ハードディスクの状態を表示しています。

良 = 異常なし
HDD エラー = HDD を認識していません（HDD フォーマットが必要です。
残容量なし = HDD 容量がいっぱいです
(フォーマットを行なうか上書き録画に設定してください)

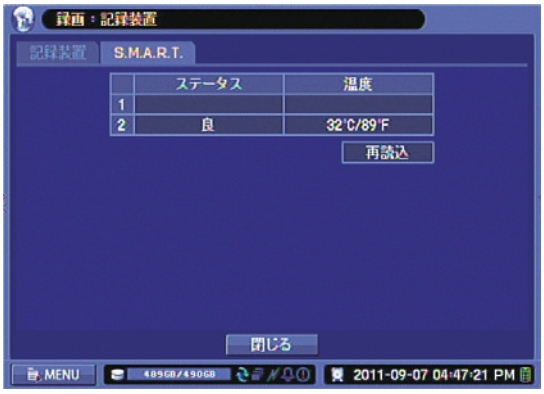
【フォーマット】　ハードディスクのフォーマットを行います。

【録画】　録画した期間を表示します。
「再読込」を押すと最新の期間に更新します。

S.M.A.R.T

メニュー > 録画 > 記録装置 > S.M.A.R.T

ハードディスクの状態確認が行えます。



【ステータス】　ハードディスクの状態を表示しています。

良　= 異常なし
不良 = 異常あり　規定の温度を超えています。

【温度】　ハードディスクの温度を表示します。

【再読込】　「再読込」を押すと最新の状態に更新します。

録画について

本機は、カメラが接続されると自動で録画を開始します。

その際、右絵のように各画面の左上に赤丸を表示します。

録画の基本設定

メニュー > 録画 > 録画 > 録画

ご注意！
本項での設定は、基本設定です。
録画設定は
【 メニュー > 録画 > 録画 > スケジュール 】
において設定された内容が優先されます。

【上書き録画】　ハードディスクのメモリが一杯になると上書き録画を開始します。

【緊急録画】　緊急録画を使用します。

【解像度】　録画解像度を選択します。(4 チャンネル共通)

「D1」　= 720x480
「Harf D1」= 720x240
「CIF」　= 360x240

【自動消去】　選択した期間ごとに録画データの消去を行います。
OFF（消去しない）、ON（消去する→　1 ～ 180 日　〔1 日単位〕）

【ips】　毎秒の録画フレーム数を設定します。　「1 ～ 30ips　（1fps 単位）」

【画質】　録画の画質を設定します。　４段階　「最高」「高」「標準」「中」

【解像度】【画質】【ips】は連続録画 / イベント録画 / 緊急録画のそれぞれに設定が可能です。

イベント録画

メニュー > 録画 > 録画 > イベント

イベント発生時に行う録画の設定が行えます。

【プリ録画時間】　イベントが発生した時点より遡って録画します。
「OFF」「ON　5 ～ 30 秒　5 秒単位」

【緊急録画時間】　緊急録画ボタンが押されたときの録画時間を設定します。

「無制限」
「制限＝ 5・10・15・20・25・30・40・50 秒、1・2・3・4・5・10・15・20・30 分」

【ポスト録画時間】　ポスト録画時間を設定します。
「5・10・15・20・25・30・40・50 秒、1・2・3・4・5・10・15・20・30 分」

スケジュール録画

メニュー > 録画 > 録画 > スケジュール

録画する時間帯や録画フレーム数などの条件を
各ＣＨ毎に細かくスケジュール設定できます。

本項での設定は、最優先設定です。
録画設定は【 メニュー > 録画 > 録画 > 録画 】において設定された内容よりも優先されます。

【曜日】　録画をを有効にする曜日を選択します。
（毎日・日・月・火・水・木・金・土・休日・月～金・土日）

【開始～終了】　録画を有効にする開始・終了時刻を選択します。
（24 時間に設定する場合は、00：00 ～ 24：00 に設定してください）

【モード】　録画しない　＝録画ＯＦＦ
Ｔ　＝常時連続録画（指定された日時）
Ｅ　＝イベント発生時のみ録画
ＴＥ＝通常は連続録画し、イベント発生時にはイベント録画を行います。

【カメラ】　録画するカメラを任意に選択します。
↵ を押すと、詳細設定画面に変わります。

【設定】　録画フレーム / 画質を設定します。
フレーム数「1 ～ 30ips　（1fps 単位）」
画質 4 段階　「最高」「高」「標準」「中」

フレームレート設定について
フレーム数のスペックを超えて設定した場合、最適な限界フレーム数に自動で振り分けて録画します。
例：本機の D1 サイズにおける最大フレーム数は 60ips です。
全チャンネル 30ips で設定した場合、30×4 = 120ips となりスペックオーバーとなります。
これを本機、最大フレーム数である 60ips になるように、各チャンネルのフレーム数を 15 フレームに自動で調整して録画します。

録画ステータス

メニュー > 録画 > 録画ツール > 録画ステータス

現在設定されているに録画条件を表示します。

録画時間の計算

メニュー > 録画 > 録画ツール > HDD 容量

録画条件を入力して録画時間の目安を算出することができます。

【ips】　録画したいフレーム数

【画質】　録画したい画質

【解像度】　録画したい解像度

【計算】　【ips】【画質】【解像度】の３つを入力して選択すると録画時間の目安が表示されます。

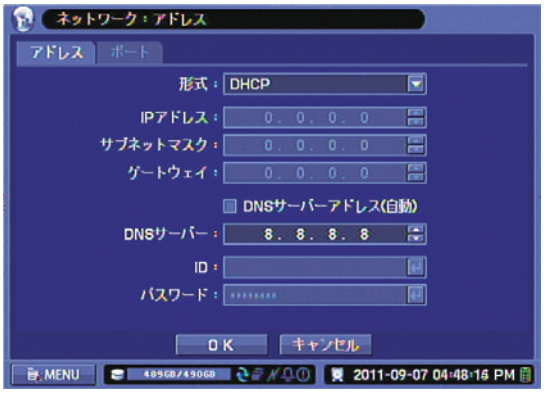
ネットワーク

本機は、ネットワーク（LAN/WAN）に接続することで、お手持ちの PC で本機の映像確認や設定の変更などが行えます。

ネットワークアクセスは本機付属のソフトウエア「NEMON2」または「インターネットエクスプローラー」を使用します。

IP アドレスの登録

メニュー > ネットワーク > アドレス > アドレス



【形式】　ネットワークをご使用になる環境「固定 IP」または「DHCP」を選んでください。

「固定 IP」= 本機専用に固定 IP(ローカル) がある場合、こちらを選んでください。
「DHCP」= LAN 接続している場合、自動で（LAN 上の）IP アドレスが割り当てられます。

上記 【形式】で、「固定 IP」を選択した場合、以下の設定項目も入力してください。

【IP アドレス】

【サブネットマスク】

【ゲートウエイ】

【DNS サーバー】

※ IP アドレスの各設定はご利用になるネットワーク環境 (ルーター等) の設定変更が必要です。
ご利用になるネットワーク環境に管理者の方がいる場合は管理者の方にご相談の上、設定を依頼するか指示を受けてください。

ネットワークポートの登録

メニュー > ネットワーク > アドレス > ポート

【ネットワークポート】　PC アクセス用のポート番号 " 主に NEMON2 で使用 "（出荷時 10101）

【ウェブポート】　PC アクセス用のポート番号 " 主にインターネットエクスプローラ使用 "（出荷時 80）

【RTSP ポート】　スマートフォン用のポート番号（出荷時 554）

【iPhone ポート】　スマートフォン用のポート番号（出荷時 10104）※ Android 端末利用時にも開放が必要です

設定したポート番号をアクセス内容に応じて、ご利用のブロードバンドルーターで開放してください。※お使いの環境 / 機器よって開放する項目が変わる場合があります。

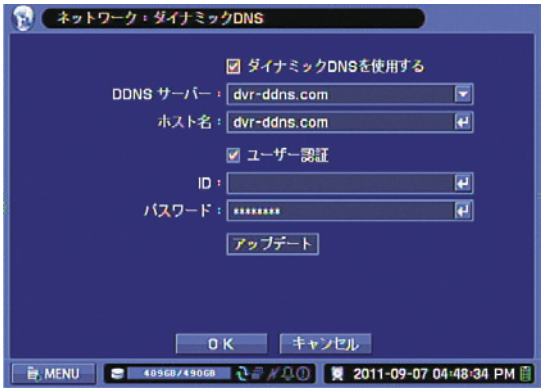
PC アクセスの場合
ライブ / 再生 / 設定 / ウェブ

スマートフォンアクセスの場合
ライブ / 再生 / 設定 / ウェブ /RTSP/iPhone

※ポート開放を行っていない場合、ネットワーク上で本機のネットワーク機能を使用できません。
※同一ネットワーク上で他の機器が同じポート番号を使用している場合、本機は正常に動作しません。
※ご利用になるネットワーク環境に管理者の方がいる場合は管理者の方にご相談の上、設定を依頼するか指示を受けてください。

DDNS

メニュー > ネットワーク > ダイナミック DNS



【ダイナミック DNS を使用する】　ダイナミック DNS を利用した、ネットワークでの遠隔監視を行なう場合に、チェックしてください。

【DDNS サーバー】　本機が受けることのできるダイナミックＤＮＳサーバーです。

【ホスト名】　「www.dvr-ddns.com」に加入して割り当てられたアドレスを入力してください。

【ID 情報を使用する】　ダイナミック DNS を用いた遠隔監視において、パスワードによる保護を利用する場合、チェックして下記 【ID】【パスワード】の設定を行なってください。

【ID】　ID 番号を登録してください。

【パスワード】　パスワードを登録してください。

【アップデート】　ダイナミック DNS サーバーへアクセスし、情報を手動で更新します。

※ダイナミックＤＮＳサーバーへの自動更新（アクセス）は 10 分に 1 回定期的に行ないます。
手動による更新は、【アップデート】を選択することで行なえます。

DDNS サーバーの無償提供サービス

弊社運営のダイナミック DNS サービスを無料でご提供しています。
サービスを受けるためには、「ｗｗｗ．ｄｖｒ－ｄｄｎｓ．ｃｏｍ」にインターネットよりアクセスし、登録・加入後、DDNS アドレス (URL) の割り当てを受ける必要があります。
DDNS サービスの登録方法は P.47 の「無償 DDNS サービスの登録」をご参照ください。

無償 DDNS サービスの登録

本機は、弊社運営のダイナミック DNS サービスを無料でご提供しています。

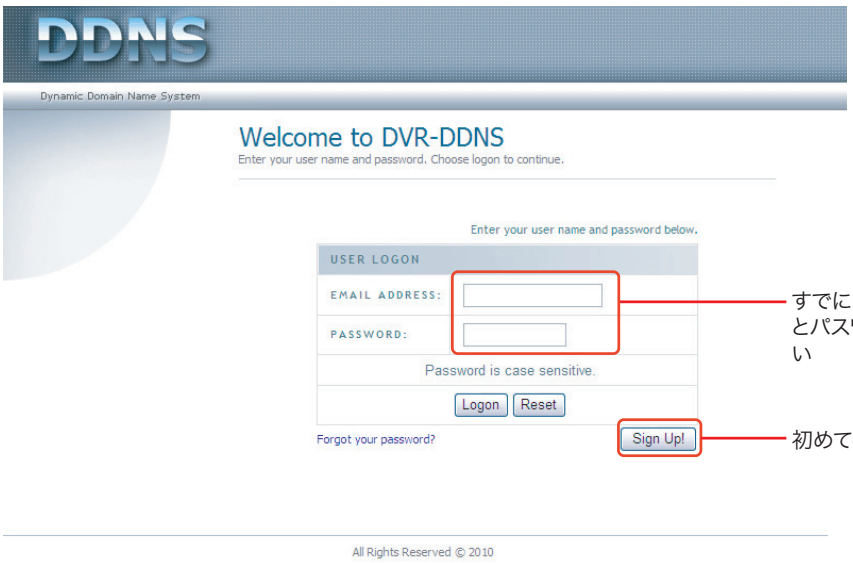
サービスを受けるためには、以下の手順で登録を行ってください。
※設定にはインターネット環境が必要です。

【初回登録手順】

お手持ちのパソコンから以下の URL にインターネットアクセスします。

http://www.dvr-ddns.com

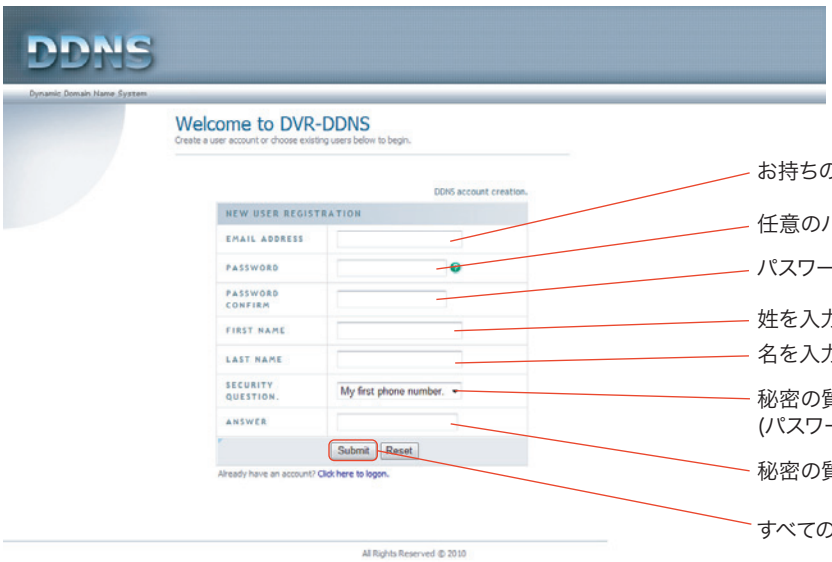
アクセスすると下記のような画面が表示されます。



すでにID登録している場合はこちらにEmailアドレスとパスワードを入力し「Login」をクリックしてください

初めての場合はこちらをクリックしてください

ユーザー登録に際して必要事項の入力を行ってください。



お持ちのEmailアドレスを入力してください

任意のパスワードを入力してください（半角英数6文字以上）

パスワードを再入力してください

姓を入力してください

名を入力してください

秘密の質問を選択してください
(パスワードを忘れた場合に使用します)

秘密の質問に対する答えを入力します

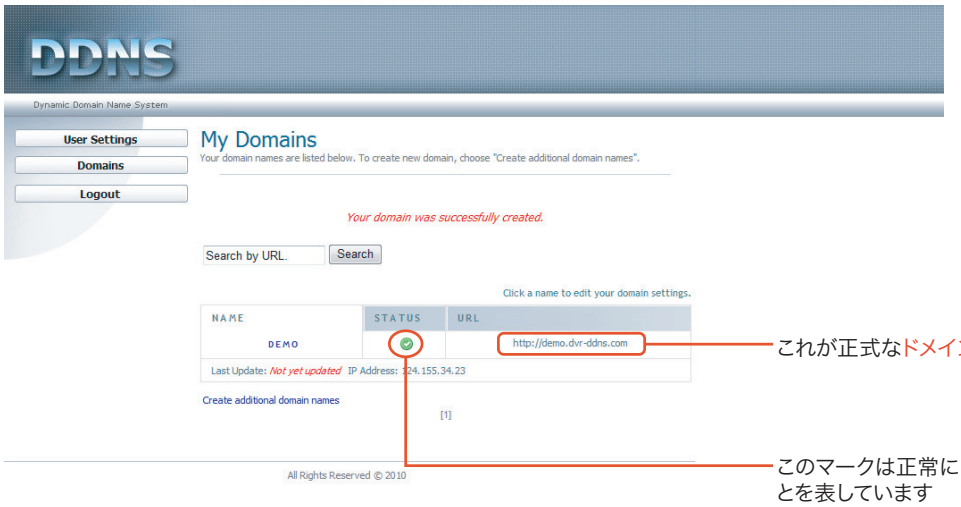
すべての入力が終わりましたら「Submit」をクリックします

ユーザー登録が完了したら次に DDNS アドレスの登録を行います。

任意のドメイン名(半角英数字)を入力して
「Request Domain」をクリックしてください。

ドメイン登録が正常に終了した場合、下記の画面が表示され登録が完了します。

※下記の画面が表示されない場合はリクエストされたドメイン名が他のユーザーに登録されている場合があります。その際は新たなドメイン名を再度リクエストしてください。



これが正式なドメイン名になります

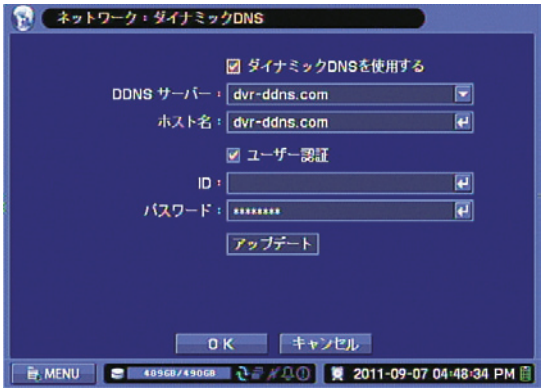
このマークは正常にドメインが稼動していることを表しています

登録したDDNSをDVRへ設定する方法は次ページをご覧ください。

登録した DDNS の設定方法

メニュー > ネットワーク > ダイナミック DNS

ダイナミック DNS を DVR へ登録してください。
※設定にはインターネット環境が必要です。



【ダイナミック DNS を使用する】　チェックを入れてください。

【DDNS サーバー】　「ｄｖｒ－ｄｄｎｓ．ｃｏｍ」を選択

【ホスト名】　登録サイトで作成したドメイン名を http:// 無しで入力
例：http://demo.dvr-ddns.com の場合 > demo.dvr-ddns.com と入力

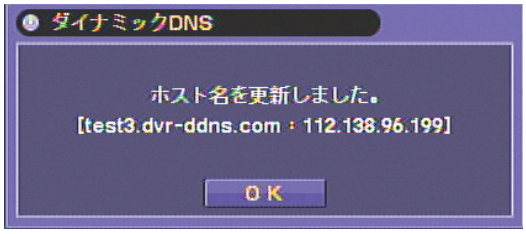
【ID 情報を使用する】　チェックを入れてください。

【ID】　登録した E メールアドレスを入力

【パスワード】　登録したパスワードを入力

【アップデート】　全ての項目を入力して【アップデート】をクリックすると DDNS サーバーへ DVR の IP アドレス登録が行われます。

アップデートが完了すると、画面上に「ホスト名を更新しました。」と表示されます。



ダイナミックDNS設定メモ（DDNS設定時の備忘録にお使いください）

DNSサーバー	dvr-ddns.com
ホスト名	.dvr-ddns.com
ID（登録時のメールアドレス）	@
パスワード	

コールバック

メニュー > ネットワーク > 遠隔通知 > コールバック

イベント（異常）発生時に、コールバック（遠隔監視パソコンの画面ポップアップ）ができます。

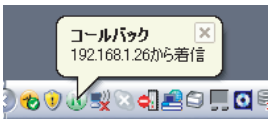
【コールバック間隔】　発信後、指定した時間内は発信しません。
（5・10・15・20・25・30・40・50 秒、1・2・3・4・5・10 分）

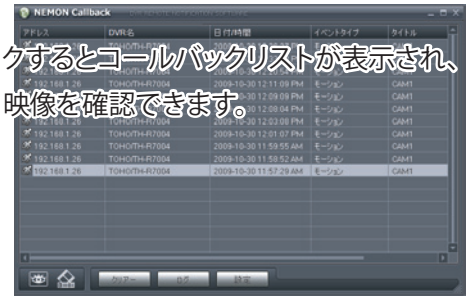
【☑】　コールバックするパソコンを追加します。

【アドレス】　コールバックするパソコンの IP アドレスを入力してください。

【ポート】　コールバックするパソコンがＷＡＮ上にある場合、パソコン識別のためポート番号を設定してください。（ブロードバンドルータでポートを開放してください）

ポップアップをクリックするとコールバックリストが表示され、
リストを選択すれば、映像を確認できます。





E メール通知

メニュー > ネットワーク > 遠隔通知 > E メール

イベント（異常）発生時に、Ｅメール通知ができます。

【Ｅメール間隔】　Ｅメールする間隔を設定します。
（5・10・15・20・25・30・40・50 秒、1・2・3・4・5・10 分）

【受信アドレス】　受信先のアドレスを入力してください。

【SMTP】　Ｅメール送信に利用するＳＭＴＰサーバーの情報を入力してください。

映像配信

メニュー > ネットワーク > 映像配信

本機は、ネットワークの転送に使用する帯域の制限やライブ映像の転送フレームレートの調整が行なえます。

【帯域制限】　転送帯域を設定できます。
「無制限」＝制限しません　「制限」＝ 1 ～ 100Mbps

【モード】　「ネットワークライブ」= PC アクセス
「モバイルライブ」=　スマートフォンアクセス

【ips】　映像配信の際のフレームレートを設定します。

【画質】　映像配信の際の画質を設定します。

【解像度】　映像配信の際の画面解像度を設定します。

【ips】【画質】【解像度】は PC アクセス / スマートフォンアクセス時のそれぞれに設定が可能です。

センサー

センサー設定

メニュー > イベント > センサー > センサー

接続センサーの検知方式などを設定可能です。

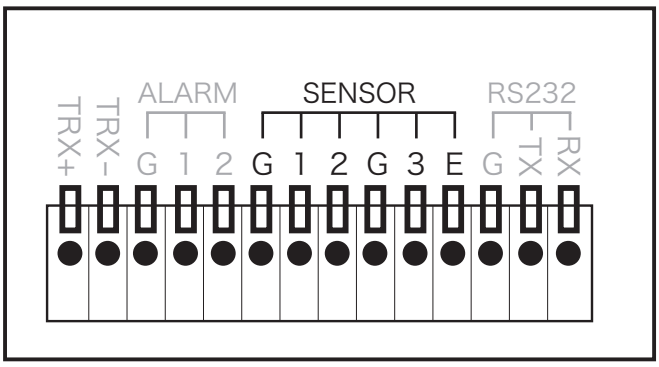
センサー入力は事前に本機背面のセンサー入力端子に外部センサーを接続してください。

【☑】　有効にするセンサー入力端子を選びます。

【タイトル】　センサー名を変更できます。（メール通知などに表示されます）

【形式】　「ＮＯ」 ノーマルオープン
「ＮＣ」 ノーマルクローズ

【センサー入力端子(本機背面パネル)】



※４番目のセンサーＥ（タイトル初期値：EMERGENCY）は、接続されている全チャンネルで緊急録画を行う場合に使用します。この機能を使用する場合には、録画設定で「緊急録画を使用します」にチェックを入れる必要があります。

センサー録画

メニュー > イベント > センサー > 録画

接続センサー動作時の録画設定が行えます。

【録画】　各センサーが反応した際に録画するカメラ（チャンネル）を表示しています。
↵ を押して録画するカメラチャンネルを選択してください。

アラーム出力

メニュー > イベント > センサー > アラーム

接続センサー動作時のアラーム出力設定が行えます。

【アラーム】　各センサーが反応した際に出力するアラームを表示しています。
↵ を押してアラームの出力チャンネル（本機背面からの ALARM 出力）、ブザー音を選択してください。

遠隔通知

メニュー > イベント > センサー > 遠隔通知

接続センサー動作時の遠隔通知設定が行えます。

【遠隔通知】　各センサーが反応した際に遠隔通知する手段を表示しています。

数字 = コールバック登録番号
E = E メール

↵ を押して遠隔通知先を選択してください。

※あて先の設定は、ネットワーク設定の「コールバック」「E メール通知」をご参照ください。

PTZ 動作

メニュー > イベント > センサー > PTZ

接続センサー動作時の PTZ カメラの動作設定が行えます。

【PTZ】　各センサーが反応した際に PTZ カメラを指定したプリセット位置に移動させます。

↵ を押してカメラチャンネルとプリセット先を選択してください。

モーション

モーション設定

メニュー > イベント > モーション > モーション

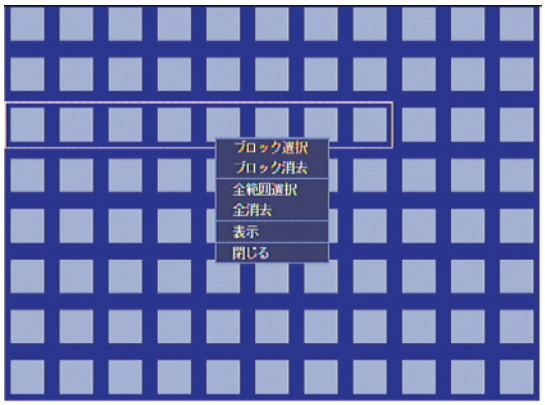
カメラ映像にモーション（動体検知）反応があると、イベント発生と認識します。

【☑】　画面左の数字は、各カメラ（チャンネル）番号です。
チャンネル毎にモーションの ON/OFF を選択してください。

【感度】　検知の感度を５段階で設定できます。
「最高」「高」「通常」「中」「低」

【設定】　モーションを検知させるエリアを指定します。（下記画面参照）

「設定」を押すと、下記のような画面が表示されます。（背景にライブ映像が表示されます）



検知エリア

色付きのマス　→　モーション検知します
無色のマス　→　モーション検知しない

画面上のカーソルを選択しながら、モーション検知エリアを設定してください。

検知エリアの設定は付属の USB マウスで行うと簡単です。

モーション録画

メニュー > イベント > モーション > 録画

モーション検知時の録画設定が行えます。

【録画】　モーション反応した際に録画するカメラ（チャンネル）を表示しています。
↵ を押して録画するカメラチャンネルを選択してください。

アラーム出力

メニュー > イベント > モーション > アラーム

モーション動作時のアラーム出力設定が行えます。

【アラーム】　モーション反応した際に出力するアラームを表示しています。
↵ を押してアラームの出力チャンネル（本機背面からの ALARM 出力）、ブザー音を選択してください。

遠隔通知

メニュー > イベント > モーション > 遠隔通知

モーション検知時の遠隔通知設定が行えます。

【遠隔通知】　モーション反応した際に遠隔通知する手段を表示しています。

数字 = コールバック登録番号
E = E メール

↵ を押して遠隔通知先を選択してください。

※あて先の設定は、ネットワーク設定の「コールバック」「E メール通知」をご参照ください。

PTZ 動作

メニュー > イベント > モーション > PTZ

モーション検知時の PTZ カメラの動作設定が行えます。

【PTZ】　モーション反応した際に PTZ カメラを指定したプリセット位置に移動させます。

↵ を押してカメラチャンネルとプリセット先を選択してください。

ビデオロス

ビデオロス録画

メニュー > イベント > ビデオロス > 録画

ビデオロス時の録画設定が行えます。

【録画】　ビデオロスした際に録画するカメラ（チャンネル）を表示しています。
↵ を押して録画するカメラチャンネルを選択してください。

アラーム出力

メニュー > イベント > ビデオロス > アラーム

ビデオロス時のアラーム出力設定が行えます。

【アラーム】　ビデオロスした際に出力するアラームを表示しています。
↵ を押してアラームの出力チャンネル（本機背面からの ALARM 出力）、ブザー音を選択してください。

遠隔通知

メニュー > イベント > ビデオロス > 遠隔通知

ビデオロス時の遠隔通知設定が行えます。

【遠隔通知】　ビデオロスした際に遠隔通知する手段を表示しています。

数字 = コールバック登録番号
E = E メール

↵ を押して遠隔通知先を選択してください。

※あて先の設定は、ネットワーク設定の「コールバック」「E メール通知」をご参照ください。

PTZ 動作

メニュー > イベント > ビデオロス > PTZ

ビデオロス時の PTZ カメラの動作設定が行えます。

【PTZ】　ビデオロスした際に PTZ カメラを指定したプリセット位置に移動させます。

↵ を押してカメラチャンネルとプリセット先を選択してください。

テキストイン

テキストイン設定

メニュー > イベント > テキスト > テキスト

テキストインの設定が行えます。

【☑】　有効にする信号方式を選びます。

【タイトル】　名称を変更できます。（メール通知などに表示されます）

【設定】　選択すると詳細設定が表示されますので必要事項を入力して設定します。

テキストイン録画

メニュー > イベント > テキスト > 録画

テキストインした際の録画設定が行えます。

【録画】　テキストインした際に録画するカメラ（チャンネル）を表示しています。
↵ を押して録画するカメラチャンネルを選択してください。

アラーム出力

メニュー > イベント > テキスト > アラーム

テキストイン時のアラーム出力設定が行えます。

【アラーム】　テキストインした際に出力するアラームを表示しています。
↵ を押してアラームの出力チャンネル（本機背面からの ALARM 出力）、ブザー音を選択してください。

遠隔通知

メニュー > イベント > テキスト > 遠隔通知

テキストイン時の遠隔通知設定が行えます。

【遠隔通知】　テキストインした際に遠隔通知する手段を表示しています。

数字 = コールバック登録番号
E = E メール

↵ を押して遠隔通知先を選択してください。

※あて先の設定は、ネットワーク設定の「コールバック」「E メール通知」をご参照ください。

PTZ 動作

メニュー > イベント > テキストイン > PTZ

テキストイン時の PTZ カメラの動作設定が行えます。

【PTZ】　テキストインした際に PTZ カメラを指定したプリセット位置に移動させます。

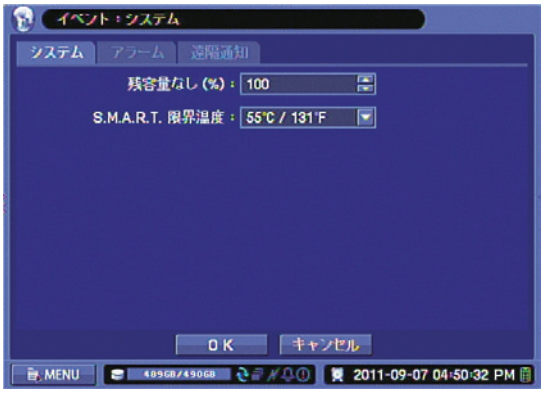
↵ を押してカメラチャンネルとプリセット先を選択してください。

HDD アラート

アラート条件設定

メニュー > イベント > システム > システム

記録媒体 (ハードディスク) に異常があると、
イベント発生と認識します。



【残容量無し (%)】　ハードディスクの残量量の割合を設定し警告通知します。

【S.M.A.R.T 限界温度】　内蔵しているハードディスクの表面温度において、エラーとする温度を設定します。

「45・55・60・65・70℃」（初期値 55℃）

アラーム出力

メニュー > イベント > システム > アラーム

記録媒体 (ハードディスク) 異常時のアラーム
出力設定が行えます。

【アラーム】　異常発生時に出力するアラームを表示しています。
↵ を押してアラームの出力チャンネル（本機背面からの ALARM 出力）、ブザー音を選択してください。

遠隔通知

メニュー > イベント > システム > 遠隔通知

記録媒体 (ハードディスク) 異常時の遠隔通知設定が行えます。

【遠隔通知】　記録媒体 (ハードディスク) 異常時に遠隔通知する手段を表示しています。

数字 = コールバック登録番号
E = Eメール

↵ を押して遠隔通知先を選択してください。

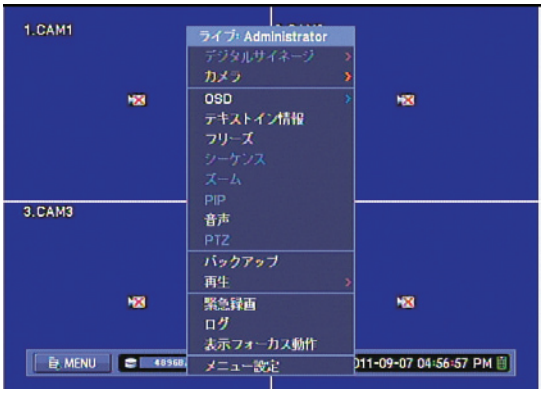
※あて先の設定は、ネットワーク設定の「コールバック」「E メール通知」をご参照ください。

サブメニュー操作

ライブ画面上で、

「右クリック」（マウス）
「↵ ボタン」（リモコン）
「↵ ボタン」（本機パネル）

のいずれかを押すと右のような画面が表示されます。



【ライブ】　ライブ画面のサブメニューであることを意味しています。

【デジタルサイネージ】　デジタルサイネージを表示するモニター画面を選択し、表示を開始します。

【カメラ】　選択したチャンネルが全画面で拡大表示されます。

【OSD】　OSD 表示の切換えを行います。

なし = OSD 表示しない
OSD = ステータスバー非表示
OSD ＋ステータスバー = 基本画面表示

【テキストイン情報】　テキストインを表示します。

【フリーズ】　選択した時点で画面固定します。（何かボタンを押すと解除）

【シーケンス】　映像チャンネルを自動で切替えます。（カメラがあるチャンネルのみ）

【ズーム】　２倍のデジタルズームを行ないます。（上下左右カーソル選択で表示画面が移動します。）

【PIP】　ピクチャーインピクチャー表示を行ないます。

【音声】　音声出力を行なうチャンネルを切替えます。

【PTZ】　PTZ カメラを操作する画面に切替わります。

【バックアップ】　録画した映像を、外部メモリへバックアップします。

【再生】　録画したデータを再生します。

【緊急録画】　緊急録画を行ないます。

【ログ】　システム履歴、イベント履歴を表示します。

【表示フォーカス動作】　操作画面の切り換えを行います。(詳細 P.8 操作画面の選択)

【メニュー設定】　メインメニューを表示します。

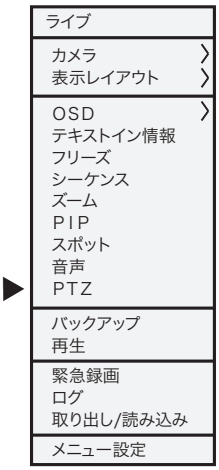
PTZ カメラの操作

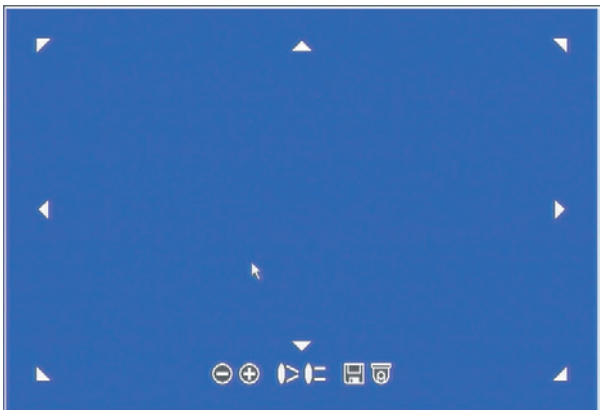
最初に、PTZ カメラの基本設定を行なってください。

PTZ カメラの基本操作

操作したいカメラを単画面表示にしてください。

サブメニューより 「PTZ」 を選択もしくは PTZ ボタン（本機パネル・リモコン）を押すと、PTZ の操作画面に切替わります。





操作方法

◁ 矢印マーク (上下左右斜め8ヶ所)：カメラを矢印方向に動かします。

⊖：ズームアウト　　：フォーカスイン　　：プリセット保存

⊕：ズームイン　　：フォーカスアウト　　：プリセット移動

PTZ サブメニュー

PTZ の操作画面上で、右クリックもしくは MENU ボタンを押すとサブメニューを表示します。

【オートパン】　PTZ カメラをオートパン（自動旋回）させます。
予め、PTZ カメラ側の設定が必要です。

【ツアー】　PTZ カメラのツアー機能（プリセット間を自動巡回）を行ないます。
予め、PTZ カメラ側の設定が必要です。

【パターン】　PTZ カメラのパターン機能（専用コントローラで任意に設定した旋回動作で自動巡回）を行ないます。予め、ＰＴＺカメラ側の設定が必要です。

【ワンプッシュ AF】　ワンプッシュ AF を行います。

【メニュー】　PTZ カメラ内のメニューを表示させます。

【ホームポジション】　ホームポジションへカメラが移動します。予め、PTZ カメラ側の設定が必要です。

【PTZ 終了】　PTZ 操作を終了して、ライブ映像に戻ります。

バックアップ

録画した映像を、ＤＶＤやＵＳＢメモリなどのメディアへバックアップします。

サブメニューより「バックアップ」を選択もしくは BACKUP ボタン（本機パネル・リモコン）を押すと、下絵の操作画面に切替わります。

バックアップ ＝ 付属ソフト「NEMON2」で再生させるバックアップデータの作成　(.strg形式)
またはIEブラウザを使用する専用形式でのバックアップデータの作成　(.exe形式)

クリップ作成 ＝ 汎用動画プレーヤー(Gom Player など)で再生するためのバックアップデータを作成　(汎用動画形式)

【ソース】　録画データをバックアップすることを表示しています。(変更できません)

【デバイス】　保存する外部メモリを選択してください。
ＯＤＤ＝ＣＤ・ＤＶＤドライブ　ＵＳＢ＝ＵＳＢメモリ

【ファイル名】　ファイル名を入力できます。(英数字)

【開始】　バックアップ開始日時を指定してください。

【終了】　バックアップ終了日時を指定してください。

【カメラ】　バックアップするカメラのチャンネルを選択してください。
(クリップ作成は１ＣＨ分のみのバックアップとなります。保存するＣＨ番号を選んでください。)

【音声】　音声を同時にバックアップする場合は、チェックしてください。

【DVR MediaPlayer】　IE ブラウザを利用する専用形式（.exe 形式）で保存する場合はチェックを入れてください。

【ステータス】　外部メモリの空き容量を表示します。

【アップデート】　上記ステータスの更新 / 接続メモリの再読込みを行います。

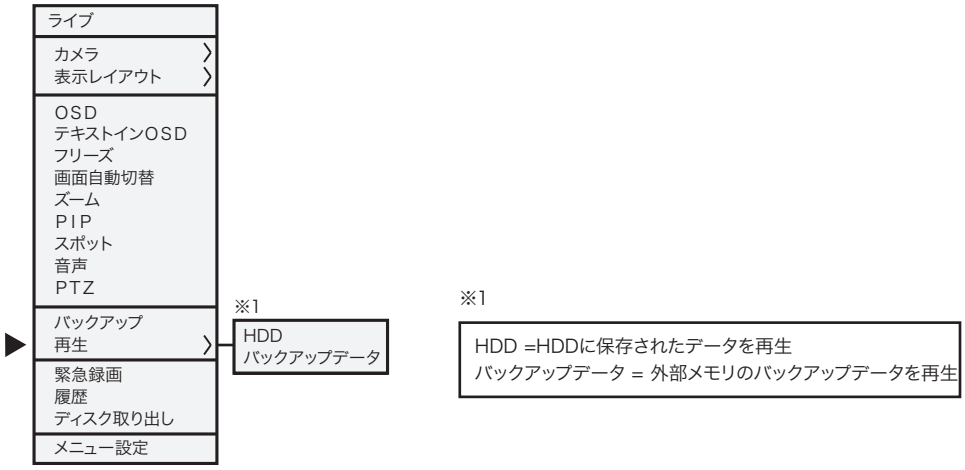
【スタート】　バックアップを開始します。

バックアップ形式は３種類あり、状況に応じて使い分けることをお勧めいたします。

strg形式　＝ 専用ソフト(NEMON2)が無いパソコンでは再生不可（管理者/関係者向けの専用バックアップ）
exe形式　＝ WindowsPCなら原則どなたでも閲覧可能でデータの再編集不可（第三者への証拠提出など）
汎用動画形式 ＝ 汎用の動画ファイルとして保存する場合（単純バックアップ/1CHのみの単独バックアップ）

録画映像の再生

サブメニューより「再生」を選択もしくは PLAYBACK ボタン（本機パネル・リモコン）を押すと、操作画面に切替わります。（音声を再生する場合は、映像を単画面表示にする必要があります。）



再生画面の基本操作

再生画面

◀ ◀▌ ▌▌ ▐▶ ▶ PLAY

【 ◀ 】「逆再生」（押す毎に倍速　1・2・4・8・16・32倍速）
【 ◀▌ 】「逆コマ送り」（一時停止時）
【 ▌▌ 】「一時停止」
【 ▐▶ 】「コマ送り」（一時停止状態）
【 ▶ 】「再生」（押す毎に倍速　1・2・4・8・16・32倍速）

再生サブメニュー

再生画面上で、右クリックもしくは MENU ボタンを押すと再生サブメニューを表示します。

【カメラ】　選択したチャンネルが単画面で表示されます。

【表示レイアウト】　分割画面表示を行ないます。

【指定】　再生の検索（頭出し）を行ないます。

時間指定 = 時刻を指定して再生。(80 ページ)
最初に移動 = 録画データの一番最初へジャンプ
最後に移動 = 録画データの一番最後へジャンプ

【検索】　検索（再生頭出し）の利便性に優れた機能です。

カレンダー検索 = カレンダーを指定して再生
イベント検索 = イベントを指定して再生
テキストイン検索 = 時刻を指定して再生

【　記録装置　】　再生する記録装置を選択します。

【　再生終了　】　再生画面を終了し、ライブ映像に戻ります。

日時を指定して再生

再生サブメニュー > 指定 > 時間指定

再生サブメニューより " 指定＞時間指定 " を選択すると、指定画面が表示されます。

指定画面の【日付 / 時間】項目欄に再生したい日時を入力し「OK」を選択すると再生が行われます。

【日付 / 時間】　再生したい日付と時間を入力します。

【最初に移動】　チェックを入れると【日付 / 時間】欄に記録映像の最初の日時が表示されます。

【最後に移動】　チェックを入れると【日付 / 時間】欄に記録映像の最後の日時が表示されます。

カレンダー検索再生

再生サブメニュー > 検索 > カレンダー検索

再生サブメニューより " 検索＞カレンダー検索 " を選択すると、検索画面が表示されます。

①【年】　年を選択します

②【月】　月を選択します

③【日】　日を選択します（録画している日は文字がオレンジ）

④【バーグラフ】　緑のバーグラフは、録画している時間帯を表示しています
赤いカーソルを左右に移動させて時間帯を指定します

⑤【時刻表示】　カーソルを選択した時間を表示

⑥【指定】　「指定」を押すと検索して再生します

⑦【詳細】　詳細を選択するとカメラごとの録画状況を表示 (下記図面)

イベント検索再生

再生サブメニュー > 検索 > イベント検索

再生サブメニューより　検索＞イベント検索を選択すると、検索画面が表示されます。

イベントリストより、見たいイベントを選択して素早く再生ができます。

【イベント】　イベントごとにリストをソートして表示できます。

【再読込】　イベントリストを最新のものに更新します。

【↵】　↵を押すと該当するイベントの発生時を再生します

テキスト検索再生

再生サブメニュー > 検索 > テキスト検索

再生サブメニューより " 検索＞テキストイン検索 " を選択すると、検索画面が表示されます。

テキストイン情報を入力して再生ができます。

製品仕様

型番		TH-R6004
映像	入力端子	BNC-J x4
	出力端子	VGAx1　BNC-J x1 (同時出力可能)
音声	入力端子	RCA-J x4(ラインイン)
	出力端子	RCA-J x1(ラインアウト)
端子	センサー入力	TTL 4系統 (通常 x3 エマージェンシー x1)
	アラーム出力	TTL 2系統
	通信インターフェース	RS232 / RS485 /USBポート x2(USB2.0)
映像表示	表示フレーム	リアルタイム表示
	表示解像度	720x480
	表示方法	単画面 / 4分割 / PIP / デジタルズーム
	OSD	多言語GUI
録画	映像圧縮	H.264
	録画解像度	D1(720x480) / Harf D1(720x240) / CIF(360x240)
	録画フレーム	D1 最大60fps / Harf D1 最大120fps / CIF 最大120fps
	画質	4段階（最高 / 高 / 標準 / 中）
	モード	常時録画 / スケジュール / イベント / スケジュール+イベント
映像再生	再生画面表示	単画面 / 4分割 / デジタルズーム
	検索方法	日時指定 / カレンダー検索 / イベント検索 / テキストイン
	再生時操作	再生 / 一時停止 / コマ送り / 早送りx2～x32 / 巻戻しx2～x32
ネットワーク	イーサネット	10/100 Base
	プロトコル	TCP/IP / HTTP / DHCP / PPPoE / RTP/RTSP
	動作	ライブ / 再生 / 設定 / アラーム通知
	ブラウザ	Internet Explorer 7 以降 (WindowsOS)
	モバイルサポート	iPhoneシリーズ (専用Appを利用)
記録媒体	HDD	HDD x2 (SATA)
	バックアップ	USBメモリ
DVR操作		本体ボタン / リモコン / USBマウス
動作周囲温度		0%～80% (結露なき事)
動作周囲湿度		+5℃～+40℃
電力	消費電力	約40W
	電源	DC12V　3.33A (最大)
外形寸法		W340 x H67 x D267mm
質量		約2kg (HDDを除く)
認証		CE / FCC / KCC / RoHS

必ずお読みください DVR取扱い上のご注意と定期的なメンテナンスのお願い

TH-Rシリーズは、内蔵のハードディスクに映像、音声をデジタルデータとして長時間記録します。
ハードディスクは精密機器のため使用環境や扱いに問題があった場合、データ消失や記録不能などの重大なトラブルの原因になります。トラブルを発生させず末永くご利用頂くために、取扱い上の注意をお守り頂き定期的なメンテナンスを行ってください。

【取扱い上の注意】

■振動や衝撃を与えないようにして下さい。

■記録/再生中に、突然電源をOFFにしたり電源プラグを抜かないでください。

■本機を移動するときはシステムをシャットダウンし、1分以上経過してから行ってください。
（シャットダウン後もハードディスクの回転が完全に停止するには約1分ほどかかります。シャットダウン後も、ディスクが回転している間は振動や衝撃を与えないでください。）

■動作周囲温度（+5℃～+40℃）を必ずお守りください。
(高温でハードディスクを使用すると不具合の原因となります。)

■本体の周囲に物を置いたりして本体の穴（通気口）をふさがないでください。
通気が悪くなると内部温度が上昇して故障の原因となります。（20℃前後でご利用ください。）

■湿度の高い場所での結露に注意してください。
（結露により動作不良を引き起こす原因となります。）

【定期的に消耗部品の交換を行ってください】

ハードディスクと冷却用ファンは消耗品ですので定期的な交換が必要です。
以下の年数を目安に定期的なメンテナンスをお願いします。
■ハードディスク　2～3年
■冷却用ファン　約3年
※上記の年数は目安であり、寿命を保証するものではありません。

【定期的な点検の実施（1年ごと）】

■機器の清掃/状態の点検

【その他の注意点】

■機器設置の運用を始められる前に必ず動作の確認をお願いします。
（設置時に録画を行い、録画映像が正常に記録されているか確認してください。）
■万が一、ハードディスクが故障した場合、記録したデータの復旧を行うことはできません。